

人々が鏡のかがやきに見ていたものとは？

鏡のかがやき

古墳に描かれた円文
が意味するもの

熊本県で発掘された
銅鏡30面が一堂に！

鏡のかがやき

古墳に描かれた円文
が意味するもの



1



2

3

4

5

子どもから大人まで鏡のかがやきを楽しもう！ 企画展関連イベント

装飾古墳館定期体験教室 銅鏡づくり体験

『鏡のかがやきをGETしよう！』

予約が
必要

令和7(2025)年1月11日(土)

午前の部 10:00～12:00 午後の部 13:30～15:30

低い温度で溶ける金属を火にかけて溶かし、型に流し入れて固めます。それを磨いてピカピカに。かがやく鏡を手に入れよう！

【定員】午前午後各20名(推奨年齢:小4以上)

【材料費】800円

【参加予約】熊本県立装飾古墳館 ☎0968-36-2151

【受付期間】令和6年12月1日9:30～12月24日17:15(先着順)

装飾古墳室クイズ探検

『円文をさがせ！』

古墳に描かれた円文を探しながら、展示室を探検！
円文マスターに君はなれるか！？(展示期間中常時参加できます)

【参加費】無料(大学生以上は入館料のみ必要)



SHOKO FURUKAWA

企画展コラボ

『鏡のかがやき！体験』

缶バッジづくり・プラ板キーホルダーづくり・ぬりえ

古墳館で作ることができる工作に、企画展特別バージョンが登場！ちいさいお友達もかんたんに楽しむことができます。(展示期間中常時参加できます)

【材料費】バッジ:50円 プラ板:250円 ぬりえ:無料

熊本県立装飾古墳館

開館時間:午前9時30分～午後5時15分

休館日:月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/25-1/4)

観覧料:一般430(300)円 大学生260(180)円

高校生以下無料 ※かつこ内は20名以上の団体料金

〒861-0561 熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地

Tel:0968-36-2151 Fax:0968-36-2120 e-mail:soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp



2024 11/2(土) 2025 2/9(日)
(令和6) (令和7)

装飾古墳館一階 企画展示室

企画展特別講座

令和6(2024)年11月17日(日)13:30～15:00

鏡からみた古墳時代の地域と社会

—熊本県域を中心に—

九州大学大学院人文科学研究院 教授 辻田 淳一郎氏

※事前予約が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

企画展関連イベント

- 銅鏡づくり体験「鏡のかがやきをGETしよう！」
- 装飾古墳室クイズ探検「円文を探せ！」
- ギャラリートーク など…詳しくは裏面へ

開館時間:午前9時30分～午後5時15分

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

年末年始(12/25～1/4)

観覧料:一般430(300)円 大学生260(180)円

高校生以下無料 ※かつこ内は20名以上の団体料金



古墳館ウェブサイト



塀で囲まれた家形埴輪
嘉島町 上官塚遺跡
(嘉島町教育委員会蔵)



玉名市 院塚古墳(熊本博物館蔵)
三浦郡五神山古墳 宇土市 城ノ越古墳(宇土市教育委員会蔵)

阿蘇市 迎平6号墳
面文帯環状乳神獸鏡
(阿蘇神社所有・熊本県教育委員会寄託)



宇城市 国越古墳(熊本県教育委員会蔵)
面文帯環状乳神獸鏡

装飾古墳の代表的な文様である円文は、円形の青銅鏡を表現していると考えられています。古代中国を起源とする鏡が、弥生時代に日本列島にもたらされ、古墳時代になると大量の鏡が古墳に副葬されるようになります。熊本県内の古墳からも三角縁神獸鏡をはじめとする様々な鏡が見つかっています。

本企画展では、県内の遺跡からみつかった鏡の数々に加え、祭祀に使われたとされる石や土で鏡をかたどった模造品と、鏡と思われる円形が描かれた非常に珍しい家形埴輪を展示します。

古墳時代の人々にとって鏡がどのようなものであったのか、熊本の地で発展した装飾古墳に鏡(円文)が描かれたのはなぜなのか、これらを通して考えます。



熊本県立装飾古墳館

〒861-0561 熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地
Tel:0968-36-2151 Fax:0968-36-2120



装飾古墳館